

## 令和5年度 甲奴中学校区小中一貫教育推進計画

甲奴中学校区では、「山里から世界へ」を合言葉にアメリカス市との交流に象徴される国際交流、2分の1成人式、職場体験学習、郷土学習や地域探究学習などを中心に小中連携を進めてきた。平成27年度より三次市「小中一貫教育」モデル地域の指定を受け、道徳教育を柱に「ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子供の育成」を目標に、甲奴小学校、小童小学校、甲奴中学校の3校で小中9年間の教育活動についての研究・実践を行ってきた。その小中一貫教育は発展期を終え、令和3年度からはコミュニティ・スクールへの移行を視野に入れた小中一貫教育を推進している。コミュニティ・スクールでは、育てたい子供像やめざすべき教育ビジョンを保護者や地域住民と共有し、目標の実現に向けて協働していくこととなる。また、令和3年度からは、新学習指導要領が中学校で全面実施となり、小中学校において目指す資質・能力を社会との連携及び協働により育成していく、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められている。

以上のことと新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、令和5年度の甲奴中学校区小中一貫教育推進計画を次のとおりとする。

### I 甲奴中学校区教育目標・めざす子供像

#### 1 甲奴中学校区小中一貫教育 教育目標

ふるさと甲奴を誇りに思い、自ら未来を切り拓いていく子供の育成

#### 2 めざす子供像

- ① ふるさと甲奴に愛着をもち、誇りに思う子供
- ② 高い志をもち、主体的に学び続ける子供
- ③ 多様な人々と協働しながら課題を解決していく子供

#### 3 育成したい資質・能力

##### ① コミュニケーション能力【知識及び技能】

多様な人々と協働して課題解決を行う上で必要なコミュニケーションの技能を身に付けさせる。

##### ② 課題を発見し解決する力【思考力、判断力、表現力等】

生活や社会の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、課題解決に向けて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できる力を育成していく。

##### ③ 乗り越える力【学びに向かう力、人間性等】

多様な人々と協働して課題や問題を解決していくために必要な粘り強さと自己調整のスキルを身に付けさせて、乗り越える力を育成していく。

## II 研究推進

### 1 研究主題

ふるさと甲奴を誇りに思い、多様な人々と協働して、主体的に学ぶ子供を育てる授業の創造  
～異文化間協働活動と課題発見・解決学習を通して～

### 2 研究仮説

- (1) アメリカス市との国際交流などの地域行事への参画や体験活動などを通して、多様な人々と協働することでグローバル・マインドやコミュニケーション能力を高めることができるであろう。
- (2) 各教科等において課題発見・解決学習におけるゴールイメージをしっかりと取り組むことで、「主体的な学び」を促進させることができるであろう。

### 3 研究推進の柱

- (1) 主体的な学びを促す授業の創造
- (2) 地域等と連携した異文化間協働活動の充実
- (3) 地域と連携した生活科・総合的な学習の時間における探究学習の充実

### 4 研究推進の具体的方策

- (1) 主体的な学びを促す授業の創造
  - ① ゴールイメージをもって学ぶ、課題発見・解決学習の単元開発を行い、主体的に学び、学び合い高まり合う児童生徒を育成する。
  - ② 各種学力調査の結果を分析し、小学校と中学校の共通課題の共有とそれをもとにした授業改善を行う。
  - ③ 本質的な問いで深い学びを創造し、単元構想、ファシリテート、デジタル機器で実現し、「本質的な問い」による授業改善を行う。
  - ④ 小学校6年生の児童が中学校への学習への関心と意欲を高めることなどを目的に、中学校教員による小学校への乗り入れ授業を行う。
- (2) 地域等と連携した異文化間協働活動の充実
  - ① 小学校では外国語に慣れ、中学校では外国語を使えるようになるために、外国語活動や外国語の指導の工夫改善を図る。
  - ② 中学生リトルティーチャー等の異年齢交流や合同行事を小中学校が協力して行い、自己肯定感を高める。

- ③ アメリカス市訪問等の異文化間協働活動を通して、多様性を受容する中でグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ④ 外国語活動及び外国語の授業研修会を小中合同で年3回実施して、外国語教育の充実を図る。
- ⑤ 英語検定を奨励し、支援を行う。

(3) 地域と連携した生活科・総合的な学習の時間における探究学習の充実

- ① 地域の課題を軽減、解消、解決することを目的とした探究学習を創造していく。
- ② 教科等で習得した知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるように、地域行事への参画や、ゲストティーチャーによる授業を行う。

### Ⅲ 推進計画

#### 1 全体研修会

	日時	会場又は方法	内容
第1回	4月27日(木) 15:30-	甲奴中	年間推進計画
第2回	8月4日(金) 15:00-	ジミオナー・セッペンター	指導主事を招聘しての研修
第3回	2月15日(木) 15:30-	甲奴中	本年度のまとめ

#### 2 小中合同授業研修会

	日時	会場又は方法	指導・助言者
第1回	6月29日(木)	甲奴小学校	広島大学大学院 准教授 松宮 奈賀子 先生
第2回	10月12日(木)	甲奴中学校	
第3回	11月9日(木)	小童小学校	

### 3 小中合同行事

行事名	日時	会場	備考
英語暗唱大会	7月 日 ( )	甲奴中学校	中学校のALT勤務日に
小中合同参観日	令和5年度は中止		合同合唱も中止
公開研究会	甲奴中学校10月12日(木)	甲奴中学校	3年に1回の持ち回り 甲奴中→甲奴小→小童小
オープンスクール	8月24日(木)	甲奴中学校	体験授業と部活動体験
リトルティーチャー	2月 7日(水)	甲奴小学校	
音楽鑑賞	6月16日(金)	甲奴中学校	自衛隊音楽隊

### 4 生徒指導の充実

- (1) 部活動の在り方について小学校、中学校で連携し取り組んでいく。
- (2) メディア利用等の実態把握をし、基本的な生活習慣の確立に向けた取組を進める。
- (3) 児童、生徒の情報共有や不登校(傾向)の児童生徒の情報についての連携を行う。
- (4) コミュニティスクールに向けて中学校区で取り組む。
- (5) 挨拶に関わるキーワード等を中学校区で統一し取り組む。